



教育委員会 令和5年10月2日

令和5年度主な諸役

建設防災委員会 委員

未来都市創造に関する特別委員会 委員

阪神水道企業団議会 監査



文化スポーツ局 令和5年10月4日

## 幅広い年代から参加できる生涯学習大学

Q 坊池 正（文化スポーツ局）令和5年10月4日

幅広い年代の方に対し、様々な局にて生涯学習大学を行っているが、どのような仕分けを行っているのか。

文化スポーツ局へは、神戸市生涯学習支援センター（中央区）「コニスタこうべ」など幾つかの生涯学習事業が教育委員会から移管され、文化活動からスポーツまで幅広い分野で、また幅広い年代の方に対して、様々な講座で学んだり、学んだことを生かして、仲間と共に実践したりするといった生涯学習の機会を提供しています。

一方、文化スポーツ局以外の局においても、例えば、「神戸シルバーカレッジ事業」は、福祉局が所管するなど、様々な局が生涯学習に資する事業を行っております。

生涯学習の所管についてどういった仕分けがなされているのか、お聞きします。

### ① 神戸市老眼大学

対象：60歳以上の市民 定員4,000名

講義内容：経済・健康・文学・歴史・芸能・音楽・時事問題などの一般教養・現代的課題を幅広く学習します。（文化ホールにて1年間24回開催）

### ② 神戸市生涯体育大学

対象：60歳以上の市民 定員240名

実技講座：健康講話、卓球、民謡、ハイキング、ボウリング、バドミントン、弓道、社交ダンス、グラウンドゴルフ、フォークダンス（入門程度の内容を体験）

### ③ 市民福祉大学

対象：年齢制限なし

これから福祉を学ぼうとする方、ボランティア活動や地域福祉活動に励んでいる方、福祉施設で働く方まで、それぞれの目的に応じた多様な研修や講座を開催しています。

### ④ 神戸市シルバーカレッジ

対象：57歳以上の市民 定員440名

「健康ライフ」「国際交流・協力」「生活環境」「総合芸術」の4つのコースを設置し、専門的な授業を行い「共通授業」や「スポーツ授業」、地域交流活動も行なっています。

# 坊池 正

ぼういけ ただし

自民党

www.jimin-kobe.com

市政報告

発行：自由民主党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6-5-1

TEL 078-322-5846

2024/4  
(西区版)

## ご挨拶

令和6年2月議会（予算市会）が、2月15日から3月29日まで開催され、予算特別委員会では、健康局、危機管理室・消防局、水道局にて質疑を行い、本議会では3月26日に一般質問を行いました。

この度の予算案では、市長の英断により「全国初 市内高校への通学定期代無料化」令和6年9月から実施予定、自民党会派要望により「神鉄シーパスワン plus の販売価格引下げ（6,000円→5,000円）」、そして、私が長年要望して参りました「玉津大久保線」が隣接都市と連携した主要幹線道路に事業化検討として、大きく前進することが出来ました。「小東山6丁目交差点の渋滞対策」、「神戸西バイパス・神出バイパスの事業促進」につきましても引き続き、粘り強く努めて参ります。

この度の市政報告では、大人、高齢者から参加できる生涯学習大学とは、「命の大切さ」「救命の大変なこと」を知るため中学生 市民救命士講習 全校実施について、国が進めている中学校 休日部活動→地域クラブ活動へ移行について、最後に農村地域での小・中学校 小規模校の対策・改善について、記載しました。

ご一読して頂けたら幸いです。



神戸市会議員

坊池 正

## A 壇特文化スポーツ局担当局長

生涯学習大学では、入門的、専門的分野に分けて市民の皆様にいろんな形で選択できるような機会を提供していきたい。

文化スポーツ局では、神戸市老眼大学、神戸市生涯体育大学を所轄しております。

神戸市老眼大学は、時事、一般教養、神戸の歴史といった多様なことを広く学ぶ目的として、文化ホールで1年間24回の講座を開催し、対象者は60歳以上で定員4,000名となっています。

神戸市生涯体育大学は、ハイキング、ダンスとかさまざまスポーツを行っております。その中から1日入門体験し、継続的にやってみたいなというスポーツを見つけていただくように神戸市生涯学習支援センター（コニスタこうべ）などで実施をしております。60歳以上が対象で、定員は240名となっております。

福祉局では、市民福祉大学とシルバーカレッジを所轄しております。

市民福祉大学は、福祉人材の育成を目的として、福祉を学ぼうとする方から、実際に福祉施設で働いている方まで、目的に応じて専門的な研修講座を開催しています。年齢制限はございません。

神戸市シルバーカレッジは、しあわせの村で3年間、年間60日、4コースに分かれて、専門的に時間をかけて学ぶような場となっております。対象者は57歳以上で、定員は各学年440名です。現役学生、卒業生の方が、様々な社会貢献活動もしている状況です。

文化スポーツ局事業は、入門的で幅広い分野の学習機会を提供し、福祉局は専門的、長期間の学習機会を提供してすみ分けを行い、市民の皆様にいろんな形で選択できるような機会を提供していきたい。

# 中学生 市民救命士講習 全校実施へ

Q 坊池 正 (教育委員会) 令和5年10月2日

市民救命士講習は、中学生に「命の大切さ」を学習してもらえる良い機会である。全校で実施して頂きたい。

以前から市民救命士講習を中学校全校での実施を要望して参りましたが、現在の実施率は約4割だと聞いております。

中学校2年生の市民救命士講習(認定証取得)では、呼吸や心臓が止まった時に必要な応急手当、AEDの使い方を学習します。

家族、友人が倒れた現場では、①1秒でも早く、その人が倒れた場所が安全なところかどうか確認。②呼吸や心臓の動きが停止している場合は直ちにその人の胸骨圧迫に移り、救急車を呼ぶ。③もし意識等があれば、何らかの反応をみて、救急車を呼ぶ。

1秒でも早い対応により、その人の救命率は上がります。心肺停止から1分以内なら救命率は95%、3分以内では75%（脳障害も避けられる可能性があります）、5分経過すると25%、8分経過すると救命の可能性は極めて低くなります。

中学生に「命の大切さ」を学習してもらえる良い機会であることから、全校実施を少しでも早く実現して頂きたい。

## A 山根教育委員会事務局学校教育部長

消防局等とも連携して、市民救命士講習の全校実施に向けて取り組んで行きたい。



# 中学校 休日部活動→地域クラブ活動へ移行

Q 坊池 正 (教育委員会) 令和5年10月2日

休日部活動が地域クラブ活動へ移行時に、受皿である地域団体や指導員と十分に連携を図って頂きたい。

中学校 休日部活動が「地域クラブ活動」へ移行することは、先生の「働き方改革」との大きな関係で、多少は仕方ないと思います。

「勉強で伸ばす子ども」「勉強以外のスポーツ・文化芸術で伸ばす子ども」「文武両道で伸ばす子ども」のために、特に中学校の部活動は重要だと思っております。数学や国語といった教科から離れ、生徒が自主的に部活動を楽しむとともに、学年を越えた仲間たちと交流を図り、一緒に成長していくという意味で、思春期の子供たちにとって非常に重要な教育活動だと考えております。

部活動が「地域クラブ活動」へ移行を進める際に、受皿である地域団体や指導者と十分に連携を図っていくべきと考えますがいかがか。

お問合せご相談は  
神戸市会議員  
ぼういけ ただし

# 坊池 正

# 小・中学校 小規模校の対策・改善を

Q 坊池 正 (教育委員会) 令和5年10月2日

農村地域の小規模校は、校区変更や統合が難しいため、学校間交流や合同学習をしっかりと進めてほしい。

少子化が進み、小・中学校の子どもたちの数が少なくなり、小規模校と呼ばれる学校が増えています。

国から小規模校の対策として、校区変更、学校統合、義務教育学校への移行、学校間交流及び合同学習等が示されています。

しかしながら、西区神出小学校や平野小学校などの農村地域の学校は、校区が非常に広大で、校区変更や統合が現実的ではなく、義務教育学校への移行も難しいと思われます。集団での学びを進めるために、学校間交流や合同学習をしっかりと進めてほしいと思いますが、具体的にどのような取組を考えておられるのか。

## A 長田教育長

学校間での合同授業、校外活動などの案を保護者や地域の方々に説明し、ご意見を伺いながら小規模校の改善を図りたい。

児童数はピーク時より約4割以上の減！

133,077人 (昭和56年度) → 72,424人 (令和4年度)

### 小学校数の推移

161校 (昭和56年度)

163校 (令和4年度)

### 小規模校数の推移

19校 (昭和56年度)

54校 (令和4年度)



適正規模の小学校 12~24学級

※いずれかの学年で単学級が生じる11学級以下の学校を小規模校と位置付ける。

## A 高田教育委員会事務局長

休日部活動の地域クラブ活動への移行は、子供たちにとってよりよい活動の場となりますように、地域の団体や指導員の方と十分に連携を図って参りたい。

地域クラブ活動「地域移行」「地域連携（合同クラブ活動）」とは

### これまでの部活動

指導者 教員（顧問）

活動場所 在籍する中学校

チーム構成 同じ学校の生徒

西区の場合は、学校間の距離や生徒数（マンモス校や小規模校）の調整が必要です。

部活動指導員 教員（顧問）・指導員

指導員 指導員

指導員 合同クラブ活動

○○中学校 △△中学校 □□中学校

### 地域移行

地域団体・指導員※

活動地域の中学校など

在籍・近隣の中学校の生徒

※地域クラブ活動への参加を希望する教員を含む

### 地域連携（合同クラブ活動）

教員（顧問）・指導員

在籍する中学校や近隣の中学校

練習は、現籍校・近隣校生徒で

実施大会は、現籍校で出場（現状）

651-2311 神戸市西区神出町東100  
TEL 080-6173-9732 FAX 078-965-0400  
E-Mail bouike@nifty.com

